

コンサルティングのご案内

CONSULTING GENERAL GUIDE



ゴール・システム・コンサルティング株式会社

P3 ゴールシステムの特徴

P4 コンサルティングの流れ - 活動組織例

P5 コンサルティングの流れ -
フェーズ2 戦略・戦術策定期の概要

P6 総合戦略 - DBR展開例

P7 お問い合わせから契約まで

ゴールシステムの特徴

TOC理論に基づいた『ゴール・システム』はTOCの原典に忠実であり、しかも日本の経営風土に合致した『しくみ』です。企業内の誰でも容易に理解・実践でき、短期間に大きな成果を約束します。

◆一人一人が考える仕組みを構築します

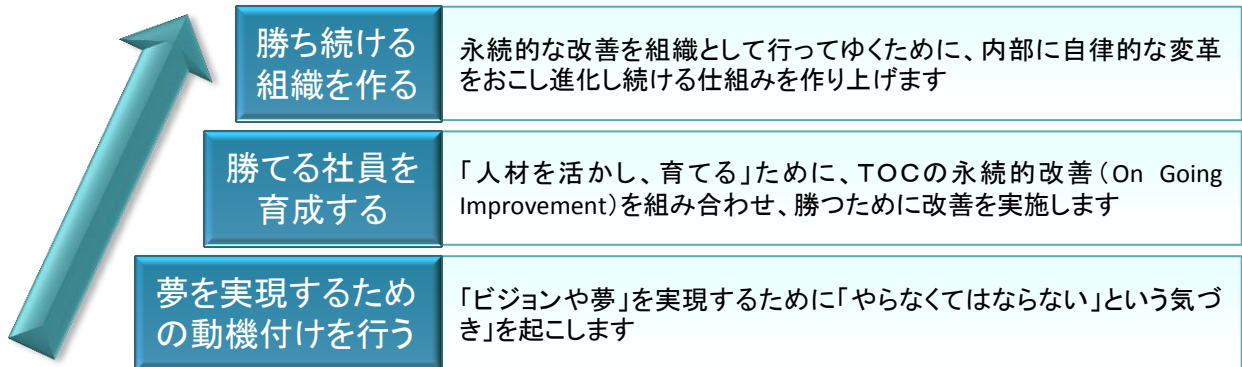
ワークショップスタイルの活動で、考えることの有効性、意識変革の重要性を自然に認識します

◆現場からトップまで一貫通貫の経営を実現します

スループット(入ってくるお金と出ていくお金の差額)を最大にすることが、意識変革の第一。スループット最大化のためには売れないものは開発しない、製造しない。シンプルな考え方は経営と現場をつなぎます。

◆素早い成果に結びつけます

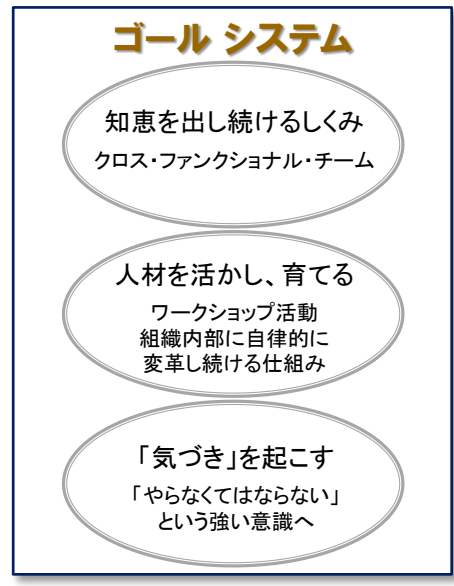
バランスラインの落とし穴を体で体感、なぜ在庫が減らなかったかが腑に落ちる。強みである改善文化を活かし変える部分／変えない部分を明確にし、改善を自分のミッションとします。



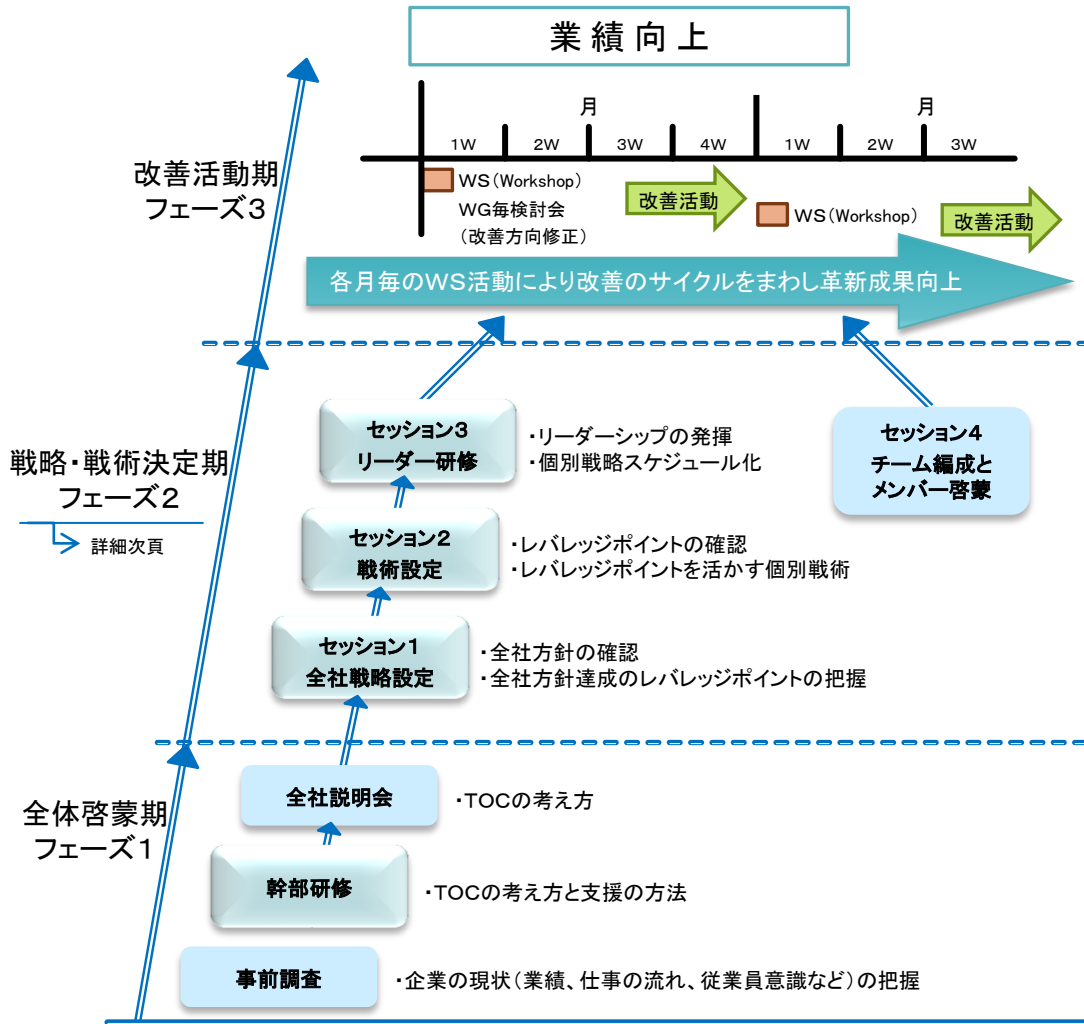
なぜ会社が変わるのかーTOC
ジョナスタイル
思考プロセス
永続的改善 (On Going Improvement)

なぜ利益が上がるのかーTOC
DBR(ドラム・バッファー・ロープ)
スループット分析 (T/I/OE)

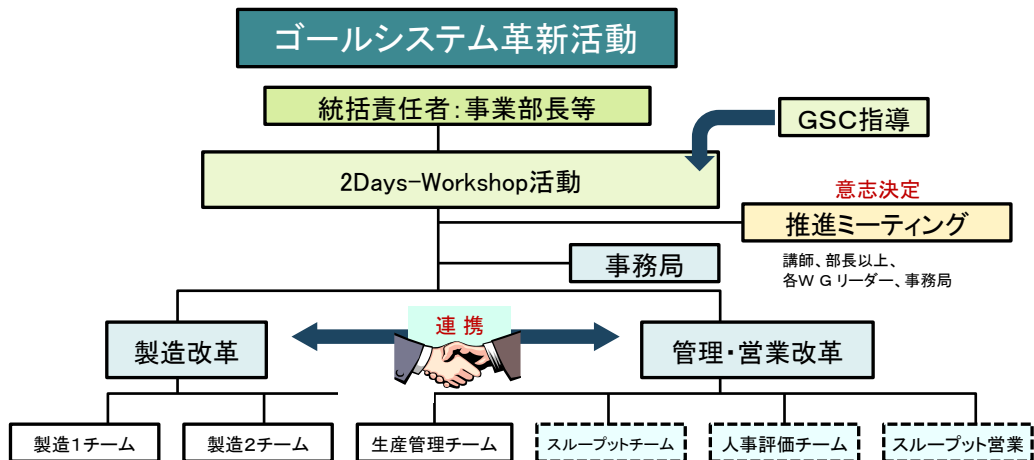
なぜ在庫が減るのかーTOC
DBR (ドラム・バッファー・ロープ)
CCPM (クリティカル・チェーン・プロジェクト・マネジメント)
生産改善の5ステップ



コンサルティングの流れ



活動組織 (例)



製造部、生産管理部、生産技術部、品管部、物流、経理、人事、事業部営業などからメンバー選出。それぞれのメンバーは月2日間を確実に空け実践活動

フェーズ2 戦略・戦術策定期の概要

このフェーズでは、セッション(会議)形式により全体最適の視点から、全社方針 → 個別戦略 → 実施の統合化を図り、実行を確実なものにしていきます。

以下、各セッション概要。

セッション1 会社戦略の策定(ビジョニング)	
目的	会社ビジョン(将来のあるべき姿)を受けて、それに向かうためのガイドラインを作成する
内容	・会社の将来の「あるべき姿は」? ・「あるべき姿」を目指すための、「目的と必要状態」は何か?
対象者・期間	・経営幹部層 ・2日間

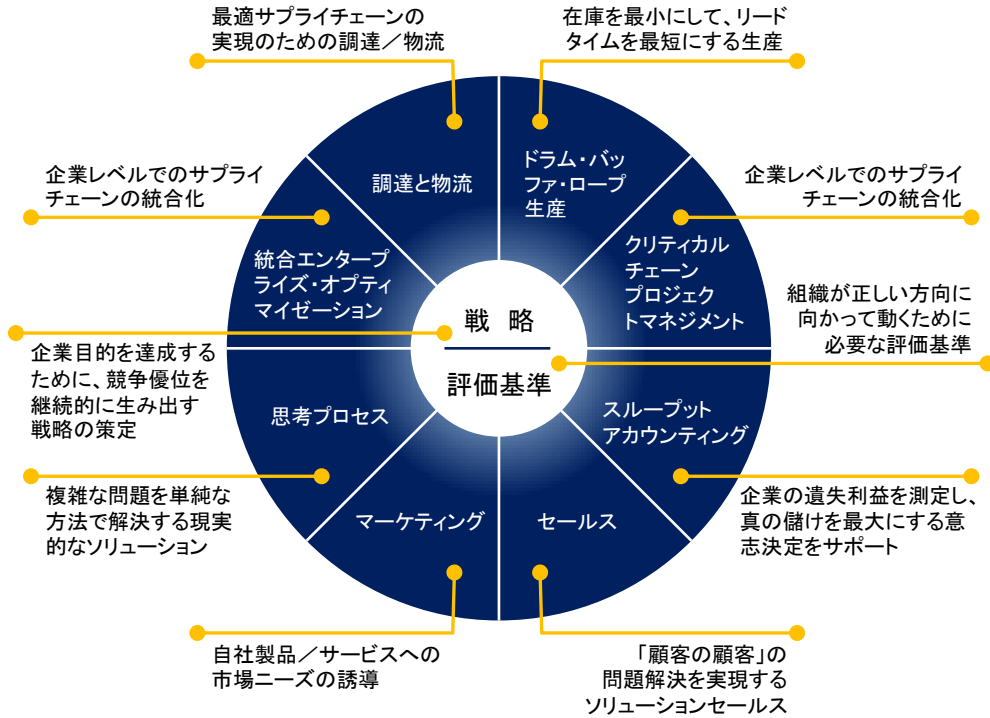


セッション2 個別戦術の策定	
目的	「目的と必要状態」達成のためには、何がレバレッジ・ポイント(目的達成に大きく影響を及ぼすもの)かを発見し、それを中心とした全体最適のシステムを作る
内容	・「目的と必要状態」の確認 ・「目的と必要状態」達成のレバレッジ・ポイントは何か? ・レバレッジ・ポイントを活かす「全体最適のシステム」は何か?
対象者・期間	・上級管理者層と改善活動全体のリーダー ・3日間



セッション3 リーダー研修	
目的	「全体最適のシステム」を実現するための改善活動のリーダーを育成する。
内容	・「全体最適のシステム」の確認 ・「全体最適のシステム」実現のためのプロジェクト計画は? ・そのためにチームをどのようにリーディングしていけばよいか?
対象者・期間	・改善活動全体のリーダー、チームのリーダー ・5日間

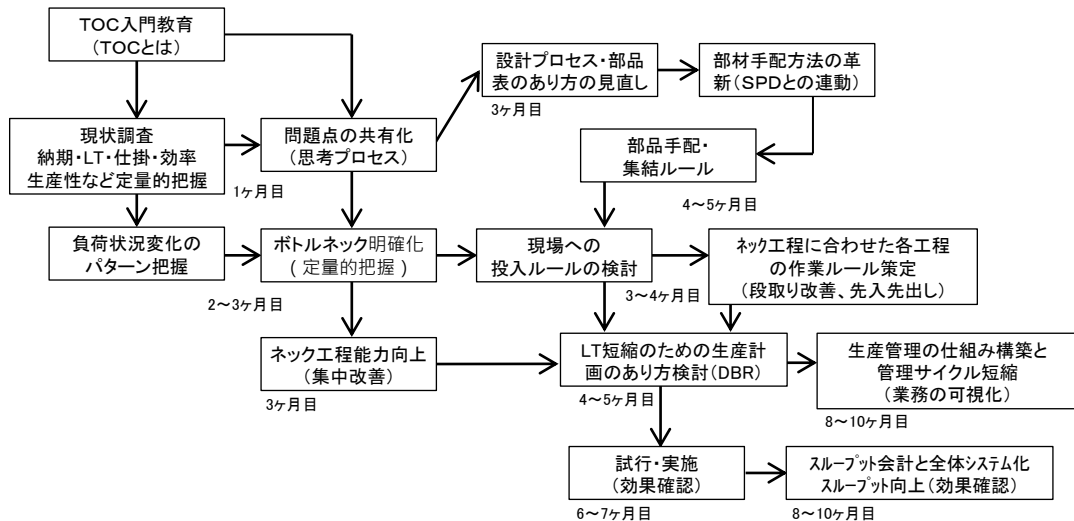
総合戦略



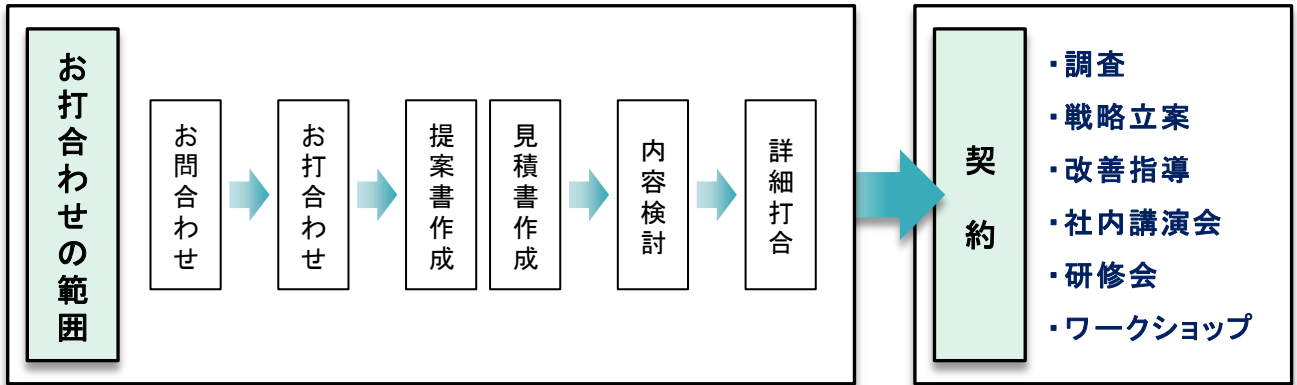
TOC-DBR 展開の例

下記は一般的な12ヶ月のDBRの推進ステップとなります。業種や生産品目の特性に応じてフローが変更になる場合がありますので、あくまでも目安としてお考えください。

- 1) 活動は1ヶ月2日間のワークショップ活動を基本に展開され、必要に応じ個別グループの支援活動を行います。
- 2) 活動に専任(専従)事務局1名、ワークショップリーダー(従事比率50%)の工数が必要とされます。



お問い合わせから契約まで



サクセスストーリー



在庫ゼロ リードタイム半減 TOCプロジェクト 究極のムダとりに挑んだ3社の実例

- 著者: 村上悟、石田忠由、井川伸治
- 出版社: 中経出版(2002年8月)
- 価格: 1,365円

セイコーエプソン株式会社 / 日立ツール株式会社 / 日立金属株式会社

3社の事例を掲載。TOC導入によって企業とそこで働く人々がどのように変わったか、そのプロセスを紹介。会社を変えたいと心底思う、そんな人々を描く、迫真のドキュメント。

「加工限界に挑む」日立ツール野洲工場

「世界最速半導体工場をめざして」セイコーエプソン半導体事業部酒田事業所

「TOC導入ドキュメント」日立金属九州工場 (TOCワークショップの進め方、活動組織の編成、事務局の設置とメンバー選定)

お問い合わせ先

ゴール・システム・コンサルティング株式会社

住所 101-0047 東京都千代田区内神田1-2-15 第三亀田ビル2F
TEL 03-5282-2480
FAX 03-5282-2417
Email info@goal-consulting.com
HP http://www.goal-consulting.com

